

授業評価アンケート結果(2012 春)

担当者：杉本憲彦

科目名：物理学 I(実験を含む)「地球と環境の物理」

実施時期：春学期最終講義日

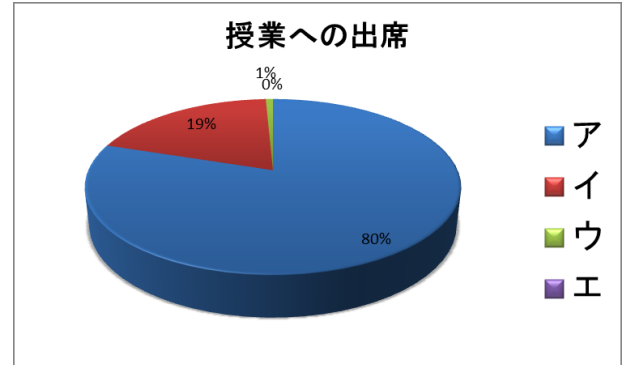
科目設置：日吉

履修者数：148 名

回収数：136 名

1. 授業への出席

ア 全部出席した	108 人
イ ほとんど出席した(80%程度)	26 人
ウ あまり出席しなかった(50%程度)	1 人
エ ほとんど出席しなかった	0 人



2. 授業について

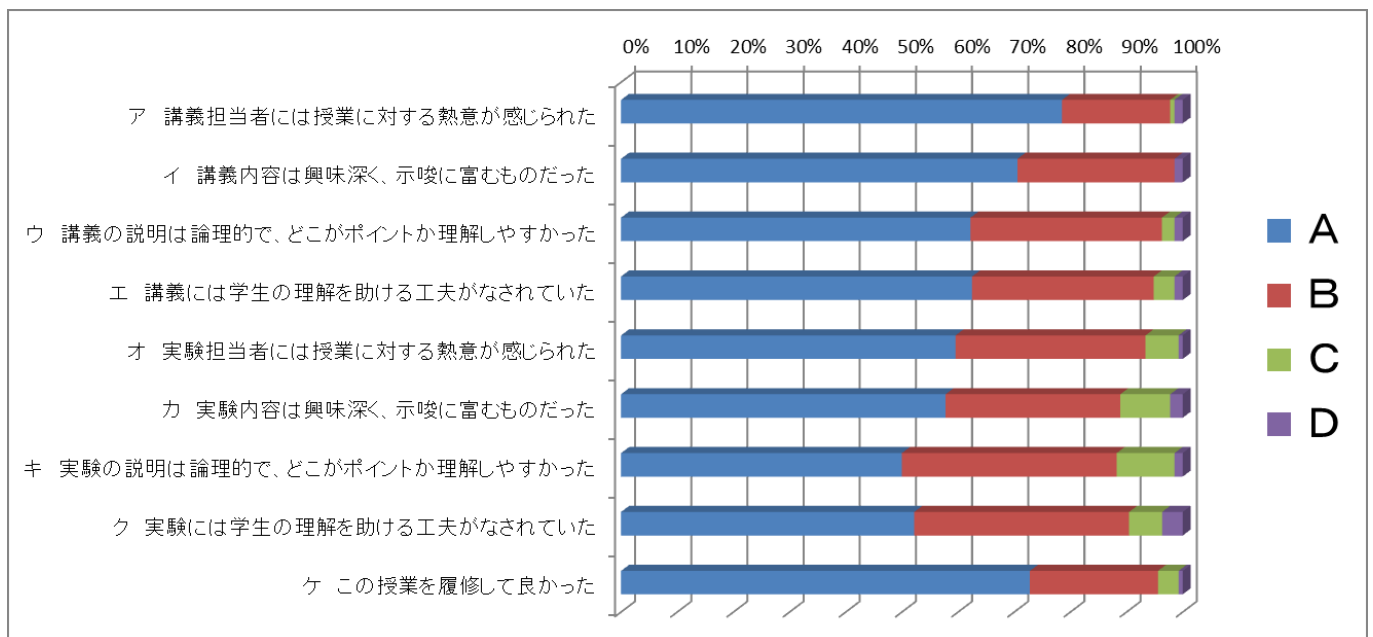
A=そう思う

B=どちらかといえばそう思う

C=どちらかといえばそう思わない

D=そう思わない

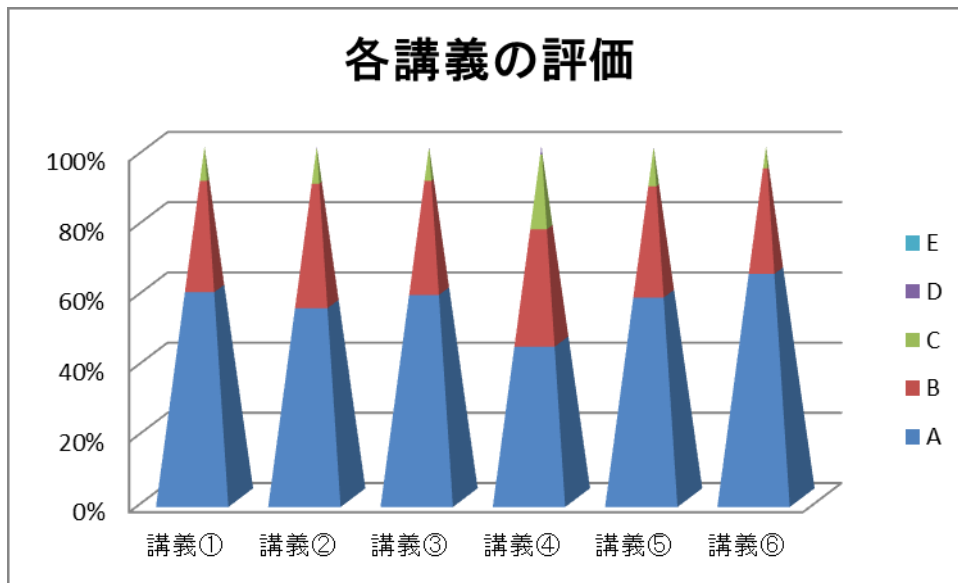
	A	B	C	D
ア 講義担当者には授業に対する熱意が感じられた	106	26	1	2
イ 講義内容は興味深く、示唆に富むものだった	96	38	0	2
ウ 講義の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	84	46	3	2
エ 講義には学生の理解を助ける工夫がなされていた	85	44	5	2
オ 実験担当者には授業に対する熱意が感じられた	81	46	18	1
カ 実験内容は興味深く、示唆に富むものだった	78	42	12	3
キ 実験の説明は論理的で、どこがポイントか理解しやすかった	68	52	24	2
ク 実験には学生の理解を助ける工夫がなされていた	71	52	8	5
ケ この授業を履修して良かった	99	31	5	1



3. 各回の講義内容について

A=とても良かった B=どちらかといえば良かった C=良くも悪くもない
 D=どちらかといえば悪かった E=とても悪かった

	A	B	C	D	E
①宇宙と地球 - 私たちの住む地球とは -	81	42	13	0	0
②大気現象 - 日々の天気から地球温暖化まで -	75	47	13	1	0
③海の不思議 - 海洋大循環と波のしくみ -	80	43	12	1	0
④地球の内部と磁気圏 - オーロラと地磁気の反転 -	60	44	28	3	0
⑤移動する大陸 - グローバルテクトニクスと地震・火山 -	79	42	14	1	0
⑥地球の未来 - エネルギー問題と持続的な社会 -	86	39	8	0	0



4. 自由記述(以下は主観による抜粋です)

- 法学部生である自分にとって、物理を理系だけの観点でなく学んでいけるこの授業はとてもためになった。
- スライドの画像が多いので、わかりやすいし、長い講義時間も飽きなかった。
- 公式だけではなく、公式を作った科学者のバックグラウンドも話してくれるので、興味を持てた。
- 物理が苦手な人でもわかりやすく、取り上げる内容も興味深い講義だった。
- 即レポはしっかり内容を聞いていれば書け、逆に聞いていなければ書けない絶妙な難度で、良かった。
- 静かで集中できる授業だった。理科に対する見方が変わった。
- △実験の考察は非常に苦戦したが、理解のためにはよいと思う。
- △高校の物理と違って、地球規模で物理を扱うのが新鮮だったが、1テーマ2時間はついていくのが大変。
- △スライドやプリントがアップされているのはよいが、動画がないのは残念だった。
- △相対論など物理に直接かかわる分野も知りたい。
- ×実験が難しい。実験の内容についてももう少し詳しい解説・講義をしてほしかった。
- ×スライドの切り替えが若干早い。もう少し空欄を減らしてほしい。

5. 講評

昨年度に引き続き、講義では、テーマ選び、構成(スライドや動画)、説明など概ね好評であった。一方、実験の評価も高くはあったが、満足度に講義との差がある。新たな実験開発、内容改善、TAの説明事項の徹底は今後の課題である。自由記述の希望事項も参考に、さらに良い講義を目指していきたい。学生さんにとって、自然科学に対する教養を深め、地球の現象へのさらなる興味に結びつくきっかけになればと思う。